さくら咲き　心地よいまち　ずっと めぐろ

MEGURO

めぐろ区報

11|15　令和8年（2026年）　NO.2245

特集

めぐろの障害福祉施設の取り組み









「じぶんらしく」は、みんなおなじ。

Main Contents

p.2・3　特集 めぐろの障害福祉施設の取り組み
p.6・7　お知らせします 区の財政状況
p.14　目黒区世論調査（兼区民満足度調査）結果
p.16　教育施策の素案への意見を募集します

めぐろ区報への感想・要望をぜひお寄せください。
回答はこちらから >>>

発行／目黒区　編集／広報広聴課　〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15　3715-1111（コールセンター・代表）　FAX 5722-8674（広報広聴課）　毎月1日・15日発行
区報配布のお問い合わせ　0120-221-523（月～土曜日〈祝・休日を除く〉9:00～17:30）　FAX 042-595-9225

「じぶんらしく」は、みんなおなじ。

特集 めぐろの障害福祉施設の取り組み

今号は、区内の障害福祉施設での就労継続支援の様子をお届けします。施設で働くかたの多様な働き方をはじめ、自慢の生産品や販売店舗、イベント情報も紹介します。

問障害施策推進課障害施設係（☎5722-9893、FAX5722-6849）

知っていますか？ 障害福祉施設の日常



＼就労継続支援B型／ 下目黒福祉工房の活動

下目黒福祉工房は、障害がある18歳以上のかた（以下、利用者）が非雇用型で働く就労継続支援B型の障害福祉施設です。工房の利用者は「菓子」「革・ステッチ」「印刷」「受注」の4班に分かれ、心を込めてものづくりに励んでいます。近隣カフェへの委託販売や大企業とのコラボ商品の開発、企業ウェブサイトへのイラスト提供など、地域社会とつながり、活動の幅を広げているのも特徴です。

菓子班



シフォンケーキ6種やマドレーヌ、アーモンドラスクなどを製作。生地作りから販売まで担当します。

革・ステッチ班



数カ月かけて1つの刺しゅう作品を手がけています。製作に集中できるよう、静かな作業環境が用意されています。

印刷班



フォントや色味を工夫しながら名刺・チラシなどを製作。1人で難しい作業は、2人1組で協力して行っています。

受注班



企業からの受注業務を担っています。受注が重なる繁忙期は、全員で声をかけ合って作業に取り組みます。

＼下目黒福祉工房／ 菓子班のスケジュール

9:00 来所

利用者が次々と送迎バスや徒歩などで来所。出迎えた職員と朝のあいさつを交わした後は、始業までお茶を飲んだり、談話したりと和やかな時間を過ごします。



9:15 着替え

キャップ、白衣、エプロンを着用し、粘着ローラーでほこりを除去。手洗い・爪の点検後、作業が割り振られ、それぞれの持ち場に向かいます。



9:30 作業開始

厳選した卵を使用したシフォンケーキを製作。職員に見守られながら、ふわふわしっとりとした自慢の生地を丁寧に作ります。



11:45 昼食・昼休み

利用者のアレルギーや食事形態に合わせた料理が提供され、隣の席の人と談笑するなど自由に食事を楽しみます。



16:00 帰宅

午後の作業を終えて帰宅。朝と同様、明るくあいさつを交わして帰宅します。



解説！就労継続支援の仕組み

Q1 就労継続支援A型・B型って？工賃って？

障害者の就労継続支援には「A型」と「B型」の2種類があります。A型は、雇用契約を結んで利用者に給与を支給するのに対し、B型は、雇用契約を結ばずに就労の機会や生産活動の場を提供します。また、製品の販売や作業の受注による売り上げは、必要経費を除いて全て利用者に支給されます。この支給金を「工賃」といいます。

	就労継続支援A型	就労継続支援B型
雇用契約	あり	なし
報酬形式	給与	工賃

Q2 工賃を上げるために必要なことは?

就労継続支援B型を行う事業者は、製品や受注作業の質を高めて、多くのかたに購入してもらえるよう工夫を重ねる必要があります。購入者は、工賃が障害のあるかたの生活を支えていることを知り、積極的に製品を購入することで、障害があるかたの社会参加を支援することができます。

事業者は…

- ☑ 品質向上に向けて取り組む
- ☑ 適正な価格を設定する

購入者は…

- ☑ 工賃の仕組みを知る
- ☑ 自主生産品の魅力を知る

個性あふれる 丁寧な手仕事

もっと知りたいかたは

めぐろはーとめいど

区内の障害福祉施設で製作した、自主生産品と受注作業の内容を紹介するカタログです。区HPのほか、障害施策推進課（総合庁舎本館2階）、福祉の店などで配布しています。



詳細はこちら



干支土鈴（目黒本町福祉工房）

粘土を焼いて作られた土鈴（どれい）は、やさしい音色が特徴。

製作者コメント 1年かけて1,500個を作っています



日替わり弁当（フードコミュニティ目黒）

彩り鮮やかな盛り付けが特徴の、手作り弁当。

お弁当は毎日配達もしています



季節のフルーツコンフィチュール（ワークイン翔）

「ダルメインworldマーマレードアワード日本大会」で8作品が受賞。

瓶に入れた時にきれいに見えるように、皮を丁寧に切りました



手作りマフラー（しいの実社）

丁寧に織り上げた、温かみのある手織りマフラー。

最後まで頑張って織り上げています

商品を購入できる場所

福祉の店 COHANA（コハナ）

区内15施設の自主生産品が並ぶ店内は、カフェスペースや明るいカウンターキッチンなど、開放的な雰囲気が好評です。



福祉の店 Sun Marché（さんまるしぇ）

フード・雑貨などがそろい、心地よい音楽と個性豊かなアートが魅力的です。



総合庁舎出張販売

西口ロビー（総合庁舎本館1階）で、区内の各施設による出張販売を行っています。販売スケジュールは、区HPをご覧ください。



区内の障害福祉施設で製作した自主生産品をプレゼントします。詳細は15ページをご覧ください

障害者週間記念事業 めぐろふれあいフェスティバル

互いに知り合う 互いに輪を広げる

12月5日（土） 会場 中目黒GT

障害福祉施設・団体による販売や活動紹介などを通して、障害への理解を深めませんか。個性光る作品や多彩な取り組みをぜひ会場でご覧ください。

同日開催「障害者差別解消区民講演会」詳細はこちら>>



●めぐろふれあいアート作品展
時 10:30～15:00
障害福祉施設・団体が制作した作品の展覧会を開催します。



●自主生産品の販売と活動紹介パネル展示
時 10:30から（なくなり次第終了）
焼き菓子やパン、雑貨などの販売や、活動紹介のパネル展示を行います。



●東京音楽大学の学生による演奏
時 ①12:15～12:30②13:30～13:45
迫力のある金管五重奏で会場を盛り上げます。



●区長表彰
時 11:00～12:30
障害のあるかたで、自立して生活しているかたなどを表彰します。
※手話通訳あり

凡例 時日時 問問い合わせ HPウェブサイト

めぐろ区報は、区HPから音声で聞くことができるほか、視覚障害などがあるかたのためのデイジー版もあります。
詳細は障害者支援課支援サービス係（☎5722-9846、FAX3715-4424）へ